
最近の経済について僕が思ったこと。

元号四年

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最近の経済について僕が思ったこと。

【Nコード】

N0134T

【作者名】

元号四年

【あらすじ】

無茶苦茶な事言ってますみません。周囲の人からの意見を参考に書いただけなので専門的な部分は何も分かってません。感想を書いてくださった方、お忙しいところわざわざ時間を割いてもらってありがとうございます。僕も批判ばかりでなく、少しは自分で出来ることをやっていこうと思います。

2011年の日本。政治経済はもはやグダグダの状態だ。

議員の汚職問題から始まり、僕たちのような国民が汗水たらして働き、ようやく得た給料から泣く泣く出した血税によって甘い汁をすすり続ける汚い大人たち。口ではどれだけ綺麗事を並べようと、そんなのは詭弁でしかない。

必要の無い道路を作るという行為は無駄以外の何物でもない。ただ、金を得るためだけに繰り返す議員たちの計算づくの行動なのだ。彼らがたびたび口にする「減税」という言葉だが、あれは頭の足りない無知蒙昧な大人たちが言っている、ただの詭弁だ。現在の日本情勢で減税なんかしたら、まず間違いなくこの国は終焉の一途をたどることになるだろう。

現在日本人一人当たりの国の借金は888万円以上に上る。これらの借金はなぜ生まれたのか。

そして、なぜいまだに増え続けているのか。

理由は簡単。ほとんど全ての議員（国家公務員）が給料以上に贅沢さを求めているからだ。

自衛隊や海上保安官、警察の機動隊なんかは仕方ないだろう。けど、普段椅子に座ってることしか出来ない無能な議員共に贅沢な環境は必要ない。あんなに立派な椅子や机も、マッサージチェアなんかも必要ない。肩がこつたら自分で揉めばいい。固い椅子が嫌ならクッションを敷けばいい。それだけのことなのに、どうしてわざわざ借金がかさむようなことをするのか。あなたたちが楽をするために、僕たち国民は税金を払ってるわけじゃない。

ちなみに、今の日本が抱えている借金は、なんと驚きの1132兆7667億円以上！（2011年 五月五日現在）日本の一年の国家予算が六十兆円強であることを考えると、約二十年分の借金を

抱えていることになりませう。

僕はこんな世の中をどうかしたいと思いますが、さすがに一人では何も出来ませう。近い将来、日本はやむを得ず自己破産の末路を辿ることになるでせう。

そうなつたとき、議員などは役に立ちませう。どうせ「秘書がやつたことだ。私は知らない」と言つて逃げるに決まつてませう。

増税しろとは言いませんし、減税しろとも言いませんが、このまま日本を無知で無能な議員たちに任せていいのか、それを考えていただければ幸いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0134t/>

最近の経済について僕が思ったこと。

2011年10月9日01時35分発行